

K-STEP アンケート結果報告

目的

本アンケートはK-STEPを導入している事業所に導入状況及び導入方法等について調査を実施し、実績を確認すると共に、今後の普及に向けた課題を抽出し、その対応を検討することを目的に実施した。

対象者・依頼及び集計

K-STEP 導入利用届を提出している機関等にメールで依頼した。

アンケートの種類とその対象

支援機関対象（108 箇所）

①実績調査

K-STEP の新規導入者数等について

②運用調査

K-STEP の導入方法、運用の仕方等について

企業対象（14 箇所）

③実績調査

K-STEP の導入者数等について

④運用調査

K-STEP の導入目的、運用の仕方等について

アンケート回収率

支援機関 54%（108 事業所中 59 箇所回収）

企業 42%（14 事業所中 6 箇所回収）

結果

1、支援機関実績調査

アンケートの回答があった支援機関等の令和元年 12 月末の K-STEP 導入実績は以下の通りとなった。

| | |
|---------------------------|-------|
| 令和元年 12 月末時点の K-STEP 利用者数 | 544 人 |
| 昨年（1 月～12 月）の新規導入者数 | 582 人 |
| 昨年の K-STEP 利用経験のある就職者数 | 215 人 |



このうち 104 人が継続

毎日記入・報告 28 人

週 1 回程度記入・報告 8 人

面談時に記入・報告 24 人

支援者等と共有 44 人

昨年の新規導入者数は 582 人と、回答のあった機関のみだがほぼ一昨年（599 人）同

様。平成 28 年からの導入者数の累積は 2000 人を超えた。

およそ半数が退所後も継続しているが、企業で毎日使えている人は K-STEP 利用経験のある者のうち 28 人（13%）だった。

2、支援機関運用調査

| 質問 | 回答数 |
|---|-----------|
| 職場の支援員全体で共有している | 45 |
| 職場内、法人内で研修、勉強会を実施している | 30 |
| 利用者への提案は、特定の支援員が中心となっている | 39 |
| 利用者への提案は ①プログラムや説明会等を実施している | 9 |
| （複数回答） ②個別面接で提案している | 26 |
| ③ ①と②の両方行っている | 13 |
| ④利用者や状況に応じて、①～③を選択している | 29 |
| ⑤その他 | 0 |
| 利用者には目的を ①体調や障害特性の把握と説明している | 52 |
| （複数回答） ②セルフケアやリハビリ方法の習得と説明している | 53 |
| ③体調等の報告練習と説明している | 40 |
| ④コミュニケーションツールとして活用と説明している | 29 |
| ⑤ その他 〔定着支援での体調などの把握〕 〔利用者により変えている 〕 | 2 |
| K-STEP を勧めるのは ①体調や障害特性の理解に課題のある利用者 | 37 |
| （複数回答） ②体調管理やセルフケアに課題のある利用者 | 43 |
| ③体調等の報告スキルなどに課題のある利用者 | 25 |
| ④その他の課題のある利用者 | 8 |
| ⑤利用者全員に提案している | 19 |
| シートのアレンジをしている | 40 |
| シートの報告は ①1日複数回、口頭で受けている | 9 |
| ②1日1回、口頭で受けている | 27 |
| ③定期面接の際に報告を受けている | 27 |
| ④報告は受けず、毎日シートの提出で確認している | 3 |
| ⑤報告は受けず、定期的なシートの提出で確認している | 4 |
| ⑥報告、提出とも受けていない | 4 |
| ⑦データで共有している | 4 |
| シートの報告時間は ①1分未満 | 6 |
| （複数回答） ②1～2分 | 30 |
| ③2～5分 | 21 |
| ④5分以上 | 9 |
| 利用者の状況に応じて、報告以外の場面でも活用している | 41 |
| 就職後の職場での使用を見据えて、導入を進めている | 12 |

<導入目的> (複数回答)

| | |
|------------------------------|-----|
| ・セルフケアの促進、セルフケアスキルの取得・向上等 | 24件 |
| ・体調・メンタル面の安定を図る、体調管理、セルフチェック | 22件 |
| ・自己理解、障害特性の把握 | 11件 |
| ・状態・体調の共有、報告、配慮要求、発信の促進・練習 | 9件 |
| ・利用者の状態・体調等の把握、共有 | 8件 |
| ・コミュニケーション促進・コミュニケーションツール | 7件 |
| ・良好・注意・悪化サインの把握 | 5件 |
| ・安定した就労継続・定着 | 5件 |
| ・体調管理の可視化 | 4件 |
| ・生活リズムの安定 | 2件 |
| ・生活課題の改善 | 1件 |
| ・近況確認 | 1件 |
| ・就職時の配慮点を明確にする | 1件 |

回答があった事業所では、K-STEPの導入や導入の目的は事業所内で共有されている所が多い。全体のプログラムとして取り入れられている事業所も多くあったが、必要に応じて個別に導入を進めている事業所の方が多くみられる。

報告の受け方では、1日1回口頭で、定期面接でという事業所が、両方行っている回答もあるが、ほぼ半数ずつだった。

K-STEPを活用した日々のセルフケアトレーニングは①セルフチェック②報告③支援者からの質問④過ごし方の相談+配慮要求・回復対応行動としており、事業所の事情にもよるが、さらに効果的な運用の仕方の普及について検討する。また、就職後にも継続し、安定した就労が継続できるよう、支援機関が企業につなげるスキル、企業への普及も検討が必要。

3、企業実績調査

6事業所でのK-STEP使用者は336人だった。

4、企業運用調査

| 質問 | 回答数 | |
|-----------------------|----------------------------|---|
| K-STEP導入目的は (複数回答) | ①従業員とコミュニケーションを図るため | 4 |
| | ②従業員の状態(体調等)を把握するため | 5 |
| | ③配慮提供のため | 2 |
| | ④従業員(支援機関)の要望で | 2 |
| | ⑤その他(※1) | 2 |
| シートの報告は (複数回答) | ①1日複数回、口頭で報告を受けている | 0 |
| | ②1日1回、口頭で報告を受けている | 4 |
| | ③毎日ではないが、定期面接などの際に報告を受けている | 1 |

| | |
|----------------------------|---|
| ④報告は受けてないが、毎日シートの提出により確認 | 0 |
| ⑤報告は受けてないが、定期的なシートの提出により確認 | 1 |
| ⑥シートの報告や提出は受けていない | 0 |
| ⑦データで共有している | 3 |
| シートの報告時間は ①1分未満 | 2 |
| (複数回答) ②1～2分 | 0 |
| ③2～5分 | 3 |
| ④5分以上 | 2 |
| 満足度(低1→5高) 1 | 0 |
| (※2) 2 | 1 |
| 3 | 0 |
| 4 | 1 |
| 5 | 3 |

(※1) その他回答

- ・本人とマネージャーが協力してメンタル面のマネジメントを行うため
- ・メンタル支障者・精神障害者従業員の体調・労務管理

(※2) 満足度コメント

- 2 ・職場復帰や職場定着に対する寄与度はよくわかりません
- 4 ・K-STEP 導入後、体調管理(当日、週、月ベース)が一目瞭然になった
- 5 ・状態把握、配慮要求&配慮提供、セルフケアの3セットのサイクルを回すことができるため
 - ・導入後に話をし易い環境が構築でき、結果として配慮要求のヒアリング・勤怠安定に繋がった
 - ・毎朝K-STEP をやることで、安心して仕事をしてもらっている

<感想・意見>

- ・抽象的でなく具体的に言語化されることにより、職場・仕事に関する適切なフィードバックがしやすくなった。また本人の特性についてより深く理解できるようになった。
- ・特にありません。企業や社員の状況によって改良していけばいいと思います。
- ・私達の職場では、朝に記入するチームと振り返り時に記入するチームが混在している(今後、朝の記入は必須にする予定)。報告は直ぐに終わるが、業務日誌とペアで使用しており(K-STEP→シート名「生活状況シート」)、体調不良時のサインがあれば直ぐに面談を行うなどしている。1行で記入できるのが最大のメリット。
- ・満足度の高い研修で多くの情報を得ているが、昨日の(研修での)実際の記入内容(より具体的)は特に良かった。
- ・入力情報の定量的分析による見える化
- ・短期的な視点でいうと、福祉的専門職でなくても、本人の体調について話ができるので、お互いの安心感につながる。長期的な視点でいうと、本人が就労継続するための生活リズムの改善につながるという点があげられる。